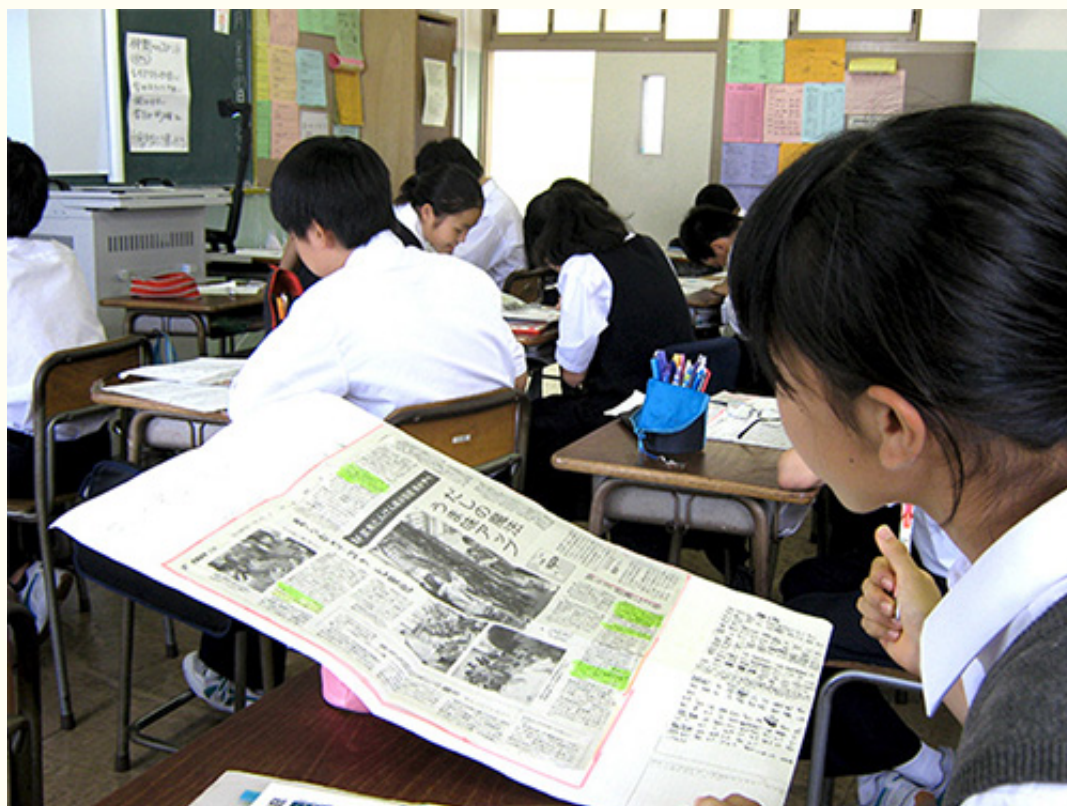


新聞で食を考える

東京都NIE中学研究授業 (2013年)



【写真=食についての新聞記事に感想を書き加える生徒たち(2013年10月8日、目黒区立第十中学校で)】

新聞を取り入れた家庭科の研究授業が10月8日、目黒区立第十中学校で行われ、新聞記事を生かして、中1の生徒29人がさまざまな「食」について考えた。

新聞を使った授業研究のため都内の先生が集まる都NIE推進協議会中学部会と、家庭科授業を研究する目黒区内の先生たちが合同で行った初の研究授業。

最新の学習指導要領では各教科で「言語活動の充実」に重点が置かれており、言語力などを育てる重要な手段の一つとして、今回、家庭科でも、新聞に着目して授業が行われた。

この日は、「食生活と自立」という中学校家庭科の一分野の導入として、「食を考える」をテーマに、生徒たちが新聞から気になる記事をそれぞれ切り抜き、台紙に貼り、要約とともに感想も書き加えた。クラスメートの感想も書き込まれ、最後は生徒各自が選んだ記事と感想、反響などを発表した。

青森県産リンゴが海外へ輸出されている様子を伝える記事や、日本が輸入しているタイでのエビ養殖が苦境に陥っている記事など、生徒たちが選んだ「食」は十人十色。円安の影響で国産に回帰している最近の日本人の食生活を伝える記事を選んだ男子生徒は「国産を買うことに価値があることが分かった」とまとめた。見学した先生からは「生徒

たちがいろいろな視点で食を見ることができた」「考えないと発表できない。中1でも自分の考えを持っているのが分かった」などの感想が上がっていた。

